

## Eternity (エターニティ)

2～5人、10歳以上、30分

切り札あり・マストフォロー・マストラフのトリックテイキング。勝ったトリック数と宣言数（獲得した樹木トークンの枚数）が一致すればボーナス点。第3ラウンド終了時、得点の最も多いプレイヤーがゲームに勝利する。

### 【内容物】

カード：42枚（3色、各1～14）

切り札タイル：3枚（3色、各1枚）

樹木トークン：18枚

得点シート：1冊

鉛筆：1本

ルールブック：1冊

### 【ゲームの準備】

切り札タイル3枚を、任意の順で横に並べる。

切り札タイルの脇に、樹木タイル18枚を裏面（植樹前）にして置く。

プレイヤーの1人が記録係になる。

得点シートの右端の縦列にプレイヤー名を記入。

各ラウンド終了時、プレイヤー全員の得点を記録する。

### 【ラウンド開始】

最も賢明なプレイヤーが、第1ラウンドのディーラー兼スタートプレイヤーになる。

第2ラウンドと第3ラウンドは、前ラウンドの最終トリック勝者が、ディーラー兼スタートプレイヤーになる。

ディーラーはカードをシャッフルして、裏向きで一度に2枚ずつ、以下の枚数になるまで各プレイヤーに手札を配る。

- 5人戦：各プレイヤーに計8枚
- 4人戦：各プレイヤーに計10枚
- 3人戦：各プレイヤーに計10枚、そして10枚を表向けて切り札ボードの上に並べる。
- 2人戦：後述する「2人用ルール」を参照

手札の枚数は、各ラウンドのターン数（トリック数）を表す。

残ったカード2枚は表向けて、同じ色の切り札ボードの下に、枚数が分かるよう縦に並べる。

### 【切り札の決め方】

下に並ぶカード枚数が最多の色が切り札になる。

枚数が同じ場合、より左にある最多の色が切り札になる。

## 【トリック開始】

スタートプレイヤーは手札の1枚を選び、自分の前に表向けて出す（リード）。以降、時計回りの順にラストプレイヤーまで、以下の2つから1つずつ行う。

### 1. トリックに参加する

手札からリード色のカード1枚を選び、自分の前に表向けて出す（フォロー）。リード色がない場合、切り札1枚を選び、自分の前に表向けて出す（マストラフ）。切り札もない場合、手札の1枚を選び、自分の前に表向けて出す（ディスカード）。

注意：

スタートプレイヤーは宣言を行えない（後述）ので、必ずトリックに参加すること。

### 2. 宣言を行う

トリックに参加したくない場合、手札の1枚を選び、自分の前に表向けかつ横向きにして出す（プレッジ）。宣言を行う際のカードは（トリックに含まないため）制約がなく、何を出しても良い。宣言を行ったプレイヤーは、カード数値の下に描かれたアイコン（0～2個）に等しい個数の樹木トークンを獲得して、自分の前に置く。

1ターン（1トリック）中に宣言を行えるプレイヤー数は以下の通り。

- 5人戦：最大2人
- 3～4人戦：最大1人

最大人数が宣言を行った後のプレイヤーは、必ずトリックに参加すること。

## 【ターン（トリック）の終了】

全プレイヤーが手番を終えたら、ターン（トリック）の勝者を決定する。

- トリックに参加したカードの中に切り札があれば、最も数値の大きい切り札を出したプレイヤーがターン（トリック）の勝者。
- 切り札がなければ、最も数値の大きいリード色のカードを出したプレイヤーがターン（トリック）の勝者。
- 宣言を行った（トリックに参加しなかった）プレイヤーのカードは、同色の切り札タイルの下に置く。

ターン（トリック）の勝者は、トリックに参加したカードを「半島（カードを裏向きの山）」にして、自分の前に置く。

注意：

半島になったカードは内容を確認できない。

勝利トリック数分かるよう、獲得した半島ごとに分けて置く（＝ひとまとめにしない）。

## 【植樹を行う】

手元の樹木トークンを裏返し、半島に描かれた丸いマスの上に置く（調和）。

半島1つに置ける樹木トークンは1枚のみ。

### 【ラウンドの終わり】

各プレイヤーは、現ラウンドで獲得した半島と樹木トークンの数を比べ、得点を記録する。

- 半島>樹木トークン：樹木トークンの枚数を得点
- 半島<樹木トークン：0点
- 半島=樹木トークン：樹木トークンの枚数+調和ボーナスを得点（半島と樹木トークンの数が0でも）

調和ボーナス

- 第1ラウンド：+2点
- 第2ラウンド：+4点
- 第3ラウンド：+7点

### 【ゲーム終了と勝者の決定】

第3ラウンドの終了時、各プレイヤーの得点を合計する。

得点の最も多いプレイヤーがゲームに勝利する。

同点の場合、最終ラウンドの得点が多い該当プレイヤーがゲームに勝利する。

### 【選択ルール】

規定ラウンド数ではなく、規定得点（20点など）に達するまでゲームを続ける。

- 各ラウンドの調和ボーナスは常に+3点
- 各ラウンドの最多得点プレイヤーの分だけ、得点を記録する

### 【2人用ルール】

ディーラーはカードを裏向きで、各プレイヤーに14枚ずつ配る。

残った14枚は、架空の「第3プレイヤー」の手札になる。

各ラウンド、7ターン（トリック）を行う。

ターン（トリック）開始時、第3プレイヤーはカード2枚を表返す。

注意：

第1ターン（トリック）のみ、第3プレイヤーが表返したカード2枚を、切り札ボードの下に並べる。

各ターン（トリック）、以下の順に1枚ずつ、計4枚のカードを手札から選んで出す。

1. プレイヤーA
2. プレイヤーB
3. プレイヤーB
4. プレイヤーA

その他は通常のルールに従う。